

ろうさい病院つうしん

病院情報誌 第17号 平成17年8月1日発行

発行所：中部労災病院

〒455-8530

名古屋市港区港明1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>

心療内科外来における自律訓練法

心療内科医師 小幡 哲嗣



心療内科の治療法に自律訓練法（AT：autogenic training）があります。ATとは、「リラックスを目的とした自己コントロール法」であり、その特徴は、直接身体に働きかけて、心を治療するところにあります。人は、身体がリラックスすれば、心が落ち着いてきます。催眠状態になっている時は、副交感神経が優位に働き、全身の筋肉が緩み、呼吸はゆっくりとなり、心拍数は減少し、血流や消化器の働きも良くなります。この状態を『自律性変容状態（ASC：altered state of consciousness）』と呼びますが、ASCを

自分で作るのがATです。

当科では、薬物の離脱と再発予防を目的として、不安と緊張を有する症例に対して集団ATを導入しています。1990年6月から2003年7月までに当科を受診し、集団ATに導入された1,010例の検討では、73.4%の症例に自覚症状の改善や、薬物の減量・離脱の有効性が認められています。

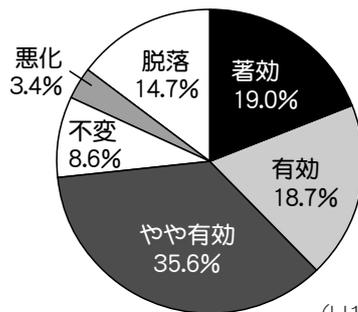
当科の集団ATの対象は、平均10名前後のグループで、月曜と水曜の午後に完全予約制で施行しています。期間は1クール2ヶ月間で8回の練習を原則としています。

【自律訓練法（AT）の公式】

- 背景公式 気持ちが落ち着いている
- 第1公式 手足が重たい
- 第2公式 手足が温かい
- 第3公式 心臓が静かに規則正しく打っている
- 第4公式 楽に呼吸をしている
- 第5公式 おなかが温かい
- 第6公式 額が涼しい

効果判定別の症例数

効果	向精神薬	自覚症状	症例数 (%)
著効	(-)	(-)	192 (19.0)
有効	(+)	(-)	189 (18.7)
やや有効	(+)	改善	360 (35.6)
不変	(+)	不変	87 (8.6)
悪化	(+)	悪化	34 (3.4)
脱落	AT構造より脱落		148 (14.7)
計			1010



(H15年7月現在)

日本自律訓練学会第28回大会

テーマ「ストレス社会に活かすAT」

<会長 芦原 睦>

【会期】平成17年10月14日(金)～16日(日)

【会場】名古屋国際会議場

【大会事務局】中部労災病院心療内科

TEL：052-652-5749 FAX：052-652-5543

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
芦原睦部長	芦原睦部長	石川 浩二	芦原睦部長	交代制
小幡 哲嗣	小幡 哲嗣	横山 寛明	小幡 哲嗣	横山 寛明

外来は予約制

予約 TEL 052-652-5749 (平日15時～17時)

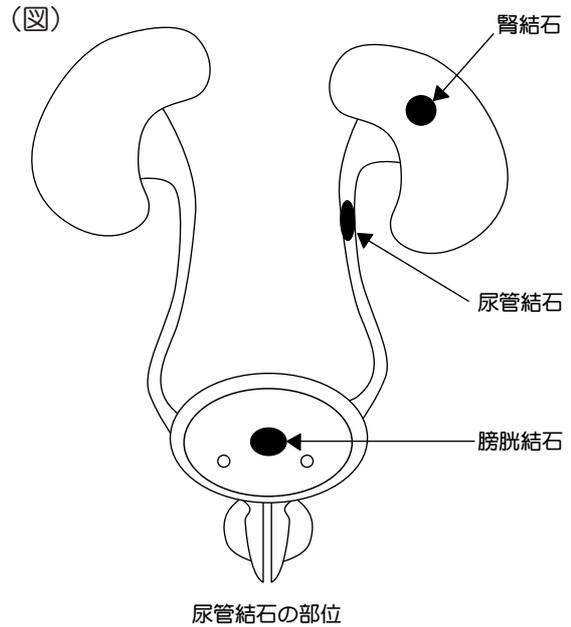
尿路結石症治療の現状と展望

泌尿器科 千田 基宏医師



尿路結石症は、食生活の変化などに伴い近年増加傾向であり、男性の約10%、女性の約5%が罹患する生活習慣病の一つとなっています。激しい腹痛や腰背部痛を伴うため、症状のあるときの治療は比較的しっかりと行う人が多いのですが、いったん治るとそれっきり音沙汰なしということが多いのも現状です。

しかし、再発することが多いことから、定期的な受診をおすすめしています。尿路結石の部位は右図に示す如く、腎、尿管、膀胱と大きく3つに分類されます。8mm以下の結石は自然排石する可能性が高いため、痛みが続く場合以外は治療を要することは少ないのですが、8mmを超える結石は治療対象となります。腎結石は症状を伴わないため放置しがちですが、8mmを超える結石が尿管へ下降すると痛みはもちろん、水腎症を伴う腎機能障害、重症尿路感染症へと移行する可能性もあるため、腎内に結石があるうちに治療することが重要となります。現在では、開腹手術することはほとんどなく、対外衝撃波結石破碎術や尿管鏡手術などの内視鏡手術にて3~5日くらいの入院期間で治療可能です。レントゲン、CTスキャン検査にて、尿路結石を発見された際には、ご紹介頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



体外衝撃波結石破碎機



月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
小谷俊一部長	伊藤裕一部長	小谷俊一部長	伊藤裕一部長	千田 基宏
性機能外来		性機能外来		

皮膚疾患と病理組織診断について

皮膚科 押谷佳美部長・梶田裕子医師

皮膚疾患は患者さん自身が病状を目で見ることができ、異常を早期に発見できることが多いのではないかと考えます。

但し、類似した皮疹に見えても、皮膚腫瘍であるか炎症性の疾患であるかを、臨床所見だけでは確定診断できない症例もあります。そういった疾患としては、菌状糸肉症・ポーエン病と慢性湿疹、パージェット病と陰部や腋下の皮膚カンジダ症などがあげられます。このような症例に皮膚病理組織学的検索が有用であると考えています。

検査は、ほとんどの場合は当日に行います。皮膚部に局所麻酔後、直径3から6mmの皮膚を

採取します。組織学的な診断は当院の病理医と皮膚科医にて行い、早ければ3日後、長くても1週間以内に結果を知ることができます。

検査結果によっては、治療方針や予後の大幅な変更という可能性もあるため、当院では患者さんの同意を得られる場合は、必要に応じて積極的に皮膚生検を行っています。

皮膚生検による診断を望まれる患者さんがいらっしゃる場合は是非当院へご紹介下さい。生検と診断のみを当院にて行い、診断の後に紹介元の先生に治療をお願い出来る症例を増やしていくことが出来ればと考えています。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
押谷佳美部長 梶田 裕子	押谷佳美部長 梶田 裕子	押谷佳美部長 梶田 裕子	木村 淳子 梶田 裕子	押谷佳美部長 梶田 裕子

当院における非侵襲的人工呼吸法

呼吸器内科 池上陽子医師

慢性呼吸不全をきたす疾患は肺気腫、陳旧性肺結核、後側弯症、神経筋疾患等さまざま、換気不全を主体とする疾患のなかには長期の酸素療法中に徐々に高炭酸ガス血症が進行することがよくあります。

当院の救急外来でも換気不全がさらに悪化しCO₂ナルコーシスを呈し救急車で搬送される患者様が多くいらっしゃいます。

従来は気管内挿管の上、人工呼吸管理が経過観察にとどまるか二者択一を迫られていました。現在では非侵襲的陽圧換気法（noninvasive positive pressure ventilation : NPPV）により鼻マスク等を利用し気管内挿管や気管切開などの

侵襲的手段を用いずに陽圧人工呼吸を行なっています。

また急性期のみならず、夜間帯のみ行なう長期NPPVは肺結核後遺症や緩徐に進行する神経筋疾患では生命予後の改善、PCO₂の改善、患者様本人の満足度の改善等、有用性が証明されており当院におきましても、昨年度は約10例、長期NPPVを導入しています。

NPPVは今後も生活の質の向上や入院期間の短縮等、患者様にとって有用であり、当院におきましても急性期のNPPVの活用や長期NPPVの導入等積極的に取り組んでいきたいと考えております。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
金子 弘史	池上 陽子	(國本政端沖) (午後)志水優子	池上 陽子	金子 弘史

連携室だより

病診連携セミナー開催報告

平成17年6月27日（月）第1回中部労災病院病診連携セミナーを開催致しました。

開催場所：当院の桜盟館大会議室
 出席者：登録医11名
 演題：「不随意運動に対するボツリヌス療法について」
 演者：榊原 敏正
 （当院神経内科部長）

講演会に引き続き行われた懇親会での内容は次のとおりです。

1 病院より

- ・紹介状に対する返書を重視し、漏れが無いようにして行きたい。
- ・逆紹介を増やして行きたい。

2 登録医より

- ・文書に略語があると内容が分からない場合がある。
- ・珍しい病名の場合、有料でも構わないので文献を頂けると有難い。
- ・時間外の患者を快く引き受けて頂き感謝している。

3 今後のセミナー開催日について

- <病院> 登録医の休診が多い水曜もしくは木曜に開催したほうが良いのか。
- <登録医> 皆の意見を聞いてもまとまらないので、病院側で決めてもらっても構わない。

4 在宅・往診について

病院から登録医へアンケートを実施して情報収集して行きたい。

医師交代

☆辞職（平成17年6月30日付）

一宮 洋 第二消化器科部長
 水谷 哲之 外科医師
 安間 英毅 整形外科医師
 矢野 元義 消化器科医師

☆採用（平成17年7月1日付）

天野 哲也 冠動脈疾患集中治療部長
 富野 竜人 整形外科医師

☆補職（平成17年7月1日付）

	<新>	<旧>
坂野 真士	関節整形部長	整形外科副部長
湯川 泰紹	脊椎整形部長	整形外科副部長
岡 義春	一般整形部長	整形外科副部長
岡本 好史	第三外科部長	外科副部長
森下 真次	自律神経部長	神経内科副部長
中西 豊	第二産婦人科部長	産婦人科副部長
伊藤 裕一	第二泌尿器科部長	泌尿器科副部長
小森 薫	精神科部長	精神科副部長
上條 美樹子	女性診療科部長	内科副部長

地域医療連携室（平日8：15～19：30）
 052-652-5950（TEL）
 052-652-5716（FAX）

室長：小林 建仁（副院長）
 佐野 隆久（副院長）
 事務担当：河野奈々・金井久実